参考資料

南郷里地域づくり計画策定委員会設置要綱

（名称）
第１条　この会は、南郷里地域づくり計画策定委員会（以下「計画策定委員会」という。）と称する。
（目的）
第２条　計画策定委員会は、南郷里地域づくり協議会（以下「地域づくり協議会」という。）が平成３１年から５ケ年間の地域づくり計画を策定するにあたり、南郷里地域の将来を見据えた課題への対応や事業の実施が図れる計画の制定をめざす。
（業務）
第３条　計画策定委員会は、前条の目的を達成するため、次の業務を施行する。
（１）　南郷里地域の現状、課題の把握に努め、地域づくり計画（案）を作成すること。
（２）　地域づくり計画策定に関して必要な調査や研究を行うこと。
（３）　地域づくり計画策定に関して必要な研修や講義を受けること。
（４）　その他地域づくり計画策定に必要なこと。
（組織）
第４条　計画策定委員会は、南郷里地域内住民１０名程度で組織する。なお、南郷里地域外の者であっても、地域づくりに関する知識を有するなど地域づくり計画策定に必要と認められた場合は、この限りでない。
（役員）
第５条　計画策定委員会に次の役員を置く。
（１）　委員長　　１名
（２）　副委員長　　１名
２　委員長は、委員の中から互選し、副委員長は委員長が指名する。
３　委員長は、委員会を代表し、委員会の議長および会務を掌理する。
４　副委員長は、委員長を補佐し、議長事故あるときは議長の職務を代理する。

（任期）
第６条　計画策定委員会の委員、役員の任期は、計画策定委員会の目的達成までとする。
（事務局）
第７条　計画策定委員会の事務局は、地域づくり協議会内に置く。
（解散）
第８条　計画策定委員会の解散は、計画策定委員会の目的を達成した場合、または計画策定委員会委員全員の解散同意があった場合とする。
（その他）
第９条　この要綱に定めるもののほか計画策定委員会に関し必要な事項は、委員長が計画策定委員会に諮って定める。

付　則

この要綱は、平成３０年５月８日から施行する。

南郷里地域づくり計画策定委員会　委員（敬称略）

１．井関　真弓　　南郷里子育て広場はぐみんぐ代表

２．岩﨑　貴史　　平成３０年度南郷里幼稚園 PTA 会長

３．小川　　敦　　長浜市職員

４．木村富久子　　長浜観光ボランタリーガイド
更生保護女性会南郷里分区会員
南郷里つくし隊員

５．杉山　茂人　　南郷里地域活力プランナーサポーター代表

６．高津　融男　　南郷里地域づくり協議会アドバイザー
委員長

７．竹本　義之　　平成３０年度南郷里地域づくり協議会理事
文化・スポーツ部会副会長

８．外村　哲郎　　南郷里地域活力プランナーサポーター代表
副委員長

９．西川　雅徳　　南郷里まちづくりセンター所長
南郷里連合自治会事務局

10．廣　　繁子　　平成３０年度南郷里地域づくり協議会理事
社会福祉部会副会長

11．福永　　礎　　平成３０年度南郷里地域づくり協議会理事
子ども育成部会副会長

12．藤井　友美　　子育て広場はぐみんぐスタッフ

あいうえお順・以上１２人

南郷里地域づくり計画にかかる住民アンケート調査　　回答用紙

１、まず、あなた（記入者）のことについてお答え下さい。
(1)お住まいの自治会は？（　　町）
(2)あなたの性別と年齢は？（令和元年７月１日現在）
性別　　１　男性　　２　女性
年齢　　１、１８才～　　２　２０才～　　３　３０才～　　４　４０才～
　　５　５０才～　　６　６０才～　　７　７０才～　　８　８０才～
(3)あなたの家族構成は？
　１　ひとり暮らし　　２　夫婦のみ　　３　親子（２世代）
　４　親子孫（３世代以上）　　５　その（　　）
(4)あなたは南郷里に住んで何年ですか？
　１　３年未満　　２　３年以上１０年未満　　３　１０年以上
(5)「南郷里地域づくり協議会」のことをご存じですか。
　１　全く知らない　　２　聞いたことはあるがよく知らない　　３　知っている
　４　よく知っている

２、次のページからアンケートになります

３、南郷里地域づくり協議会へのご意見やご要望を自由にご記入ください。

ここからアンケートになります。

南郷里地域づくり計画案に掲げられている８つの基本目標ごとに、関連した実施事業案を以下に示しています。個々に記入されている実施事業は、地域づくり計画策定委員会で考えた一例ですが、この中であなたが「優先度が高い」（あるいはこの事業はとても大事だ）と思われる事業を３つ選んで、番号に〇印してください。

基本目標１－１　暮らしを守るまちづくり
１、住民への防災知識の啓発・普及を行い、防災訓練への積極的な参加を促す
２、自治会での防災組織づくりや専門の人材と防災の資機材などを充実する
３、南郷里での防災組織を作り、総合防災訓練を毎年行う。
４、高齢者など災害要援護者の安否確認や見守りするためのしくみを作る
５、自治会での防犯パトロールや防犯灯、防犯カメラ、通報装置などの設備を充実する
６、南郷里地域での防犯のための組織づくりをする
７、南郷里地域での交通安全施設や標識、ガードレール、信号などの設備を充実する
８、交通安全対策のためのスクールガードや見守りの人材を確保し組織づくりをする
９、交通事故や転落事故など危険な場所のパトロールを行い危険箇所マップをつくる
１０、その他
（　　）
※「１０．その他」には、１～９に当てはまらないご提案等がある場合にご記入ください（以下同じ）

基本目標１－２　自然と共生するまちづくり
１、自然環境に配慮した公園や広場、また道路や河川の整備を行う
２、子どもたちが自然とふれあえる場所を作ったりその機会を提供する
３、水・緑・田園などの自然環境を守っていくための住民の積極的な活動参加を促す
４、ゴミの不法投棄を防止するための看板設置や監視パトロールを行う
５、荒れ地や雑草地帯をなくすため、住民による清掃活動を行う
６、耕作放棄地が出ないような農地や空き地をきちんと管理できる仕組みを作る
７、資源ゴミの回収やリサイクル運動を進める（資源回収やリサイクルバザーなど）
８、公害や環境汚染などがないように企業の監視や指導をする
９、南郷里地域で一斉に行う清掃活動を行う（南郷里クリーン作戦など）
１０、その他
（　　）

基本目標１－３　福祉と暮らしの利便性のまちづくり
１、くらしの困りごと（買い物、ゴミ出し、家屋敷の手入れなど）を支援できる組織や仕組みを作る
２、高齢者や障がい者などが外出するときの交通手段の確保に取り組む
３、自治会での高齢者サロン等による、引きこもり防止や健康増進の取り組みを進める
４、福祉委員など自治会内で、福祉活動ができる人材やボランティア組織を育てる
５、高齢者や障がい者が地域の近くで生き生きと働ける場所づくりに取り組む
６、子育て支援のための学童保育や一時預かり、相談できる場所などを充実する
７、子どもたちの通園・通学路の安全対策を図る
８、青少年健全育成のための研修や事業を実施する
９、高齢者や障がい者、女性などにおける人権教育や人権学習を進める
１０、その他
（　　）

基本目標２－１　誇りと愛着の持てるまちづくり
１、郷土の偉人である小堀遠州公をＰＲできる情報発信やイベントを開催する
２、南郷里地域の歴史や偉人たちを学べる文献の発行や歴史講座などを開催する
３、古文書や写真、記録文献、古老の話などの資料の発掘や収集を行う
４、地域で伝わる祭りやオコナイなどの伝統文化行事の継承と保全に取り組む
５、伝統的なまちの行事や特産品や伝統食などを発掘し広くＰＲしていく
６、南郷里の良さを内外の人に知ってもらうための宣伝や情報発信を進める
７、ゴミや雑草をなくするような住民による清掃活動を続ける
８、昔から伝わる古いしきたりや慣習を見直し暮らしやすさをめざす
９、高齢者と若者、子どもたちが交流できるイベントなどを開催する
１０、その他
（　　）

基本目標２－２　文化・芸術・スポーツのあるまちづくり
１、まちづくりセンターを利用した図書室や図書館をつくる
２、まちづくりセンターを利用した美術展や芸術展、音楽発表会などを開催する
３、署名な文化人や芸能人などによる講演や演劇、芸能イベントを開催する
４、署名なスポーツマンによる講演やスポーツ体験会を開催する
５、自治会内の広場や公園などを整備する

６、文化・芸術・スポーツなどを指導できる人材を発掘したり育てていく
７、文化・芸術・スポーツをするための資材や道具等を充実する
８、文化・芸術・スポーツ振興のために企業などから協賛金の提供を促す
９、まちづくりセンターを利用しやすくするために利用管理ルールを見直す
１０、その他
（　　）

基本目標３－１　コミュニティ形成が根付くまちづくり
１、テーマを決めて、自治会役員の合同会議や定期的な情報交換会を開催する
２、隣接自治会同士による自治会事業を一本化したり合同で開催したりする
３、南郷里地域の老人クラブなどのさまざまな団体同士の交流会を開催する
４、若い世代の地域団体の組織づくりに取り組む（旧青年団など）
５、自治会における女性会や女性クラブの組織づくりに取り組む
６、まちづくり委員会など住民による自主的なまちづくり活動を推進する
７、南郷里全体の地域住民がまちづくりセンターで交流できるイベントなどを開催する
８、若者と高齢者同士、男性と女性同士、新旧住民同士などが交流できる場を開催する
９、若者が居続けてくれるような南郷里地域の魅力づくりや地域活動を展開する
１０、その他
（　　）

基本目標３－２　活力のあるまちづくり
１、くらしの買い物や用事は、できるだけ南郷里地域の地元の企業や店を利用する
２、イベントや講演会などに、地元の人材や施設や設備を利用する
３、貸し農園や特産品の開発、農家レストランや農家民宿などによる農業の振興を図る
４、まちづくりセンターを利用して手作り商品や野菜などを販売する
５、観光客の増加をめざしたマップやガイドブックなどを作成し地域のＰＲを進める
６、ホームページの開設や先端の情報手段を使って南郷里地域の情報発信を行う
７、小堀遠州公や総持寺などの観光資源を地域住民が活かす取り組みを進める
８、商店街、飲食店街、イベント会場などを作り若者たちが集まれる場所をつくる
９、南郷里地域での全員参加、役割分担を取り入れた住民によるまちづくり活動に取り組む
１０、その他
（　　）

基本目標３－３　参画と協働のまちづくり
１、南郷里地域でまちづくり活動を紹介する地域づくり推進大会を充実する
２、地域づくりサポーター制度の継続と研修を充実していく
３、市広報紙の配達など、南郷里地域でできるような行政サービスを市から受託する
４、南郷里地域の各自治会の行事や事業の広報や情報発信に取り組む
５、まちづくりセンターでの住民同士が話し合える場所と機会の提供を図る
６、住民自治や住民のまちづくりにおける講座や研修会を開催する
７、南郷里地域で対応できない行政課題の市などへの要望活動をする
８、南郷里地域づくり協議会事業に協力してもらえる人材を探し育てていく
９、南郷里地域の各種団体同士の連絡会や交流会を開催する
１０、その他
（　　）
ご協力ありがとうございました。

調査の概要

1．調査の目的

現在南郷里地域づくり協議会では「南郷里地域づくり計画」令和元～令和５年度）の策定に向けて取り組んでいる。このアンケートは、最終案の「実施事業」に反映させるために、どのような地域づくりが求められているかを把握することを目的としている。

２．調査の方法

対象者　南郷里地域全世帯を対象とし、各世帯 18 歳以上の異なる立場の 2 名（総数 5,678 人）

調査期間　令和元年 7 月 1 日（月）～ 令和元年 7 月 20 日（土）

３．配布回収状況

配布数・回収数・回収率は下表の通りである。

各自治会の回収数が南郷里地域全体の回収数に占める割合（下表）

南郷里地域全体の回収数に占める割合が最も大きい自治会は宮司東町（12.6%）である。その他に、全体の10%を超える自治会は、小足新町（11.9%）と宮司西町（11.8%）である。これら３つの自治会だけで全体の36.3%を占める。

東西の地域区分

南郷里地域を北陸自動車道で東西に分ける。ただし、大東町については都市化傾向等から東部に含める。これにより、東部は15自治会（1. 468世帯）西部は6自治会（1,476世帯）となる。

各自治会の世帯数・配布数・回収数・回収率を表にまとめると以下のようになる。なお世帯数については、6 月末現在の自治会加入世帯数を用いている。

……

基本目標のアンケート結果のまとめ

1-1. 暮らしを守るまちづくり

暮らしを守るまちづくりでは、①防犯パトロール、②高齢者等の安否確認、③交通安全設備の３つの実施事業が重要とされた。

東部や高齢化率の高い地域では②高齢者等の安否確認が最も重視された。他方、西部や宅地開発が進む地域では①防犯パトロールと③交通安全設備が重視された。10 年未満居住者（転入者）は交通安全への関心が高い。急速な宅地開発に道路整備が追いついていない状況があると推測される。

1-2. 自然と共生するまちづくり

自然と共生するまちづくりでは①自然環境の整備、②子供たちと自然とのふれあい、③不法投棄対策の３つが重要な実施事業として支持された。

一人暮らし世帯と高齢者では③不法投棄が最も重視された。他方、子育て世帯と 10 年未満居住者では６割以上が②自然環境の整備と②子供たちと自然とのふれあいを重要と考えた。

1-3. 福祉と暮らしの利便性のまちづくり

福祉と暮らしの利便性のまちづくりでは①高齢者等の交通手段、②通学路の安全対策、③くらしの困りごと支援の３つが重要な実施事業とされた。

西部・男性・子育て世帯・10 年未満居住者では②通学路の安全対策が最も重要な事業となった。

子育て世帯と 10 年未満居住者では「子育て支援の場所づくり」が高い支持を得た。

2-1. 誇りと愛着の持てるまちづくり

誇りと愛着の持てるまちづくりでは、①慣習の見直し、②老若男女の交流、③住民の清掃活動の３つが重要とされた。

子育て世帯と 10 年未満居住者では②老若男女の交流が最も重視された。すべてのグループで「地域の良さの宣伝」が４位前後で支持された点も注目される。

2-2. 文化・芸術・スポーツのあるまちづくり

文化・芸術・スポーツのあるまちづくりでは①.広場・公園の整備、②図書室等の設置、③まちづくりセンターの利用管理の３つの実施事業が重要とされた。

東部・女性・一人暮らしで高齢者以外の世帯・10 年未満居住者は①図書室等の設置を最も重視している。一人暮らしの高齢者世帯は③まちセン利用管理が 1 位となった。子育て世帯と 10 年未満居住者では「スポーツ等の.資材や道具の充実」が上位に入る高い支持率となった。

若い世代に選ばれるまちづくりとして、①広場・公園の整備、②図書室等の設置、③文化・スポーツ関係の資材等の充実が重要だといえる。

3-1.コミュニティ形成が根付くまちづくり

コミュニティ形成が根付くまちづくりでは、①若者向け地域の魅力づくり、②まちづくりセンターでの交流イベント、③住民主体の活動促進の３つが重要とされた。

一人暮らしの高齢者世帯では、かつての青年団のような「若い世代の団体づくり」が、高齢者・子育て世帯では「団体間の交流会」が上位に入った。子育て世代では、①若者向け地域の魅力づくりが64.9%という非常に高い支持率となった。

3-2. 活力あるまちづくり

活力あるまちづくりでは、①手作り商品・野菜の販売、②若者が集う場所、③農業振興の３つが重要な実施事業として支持された。

高齢者では 80 代以上の 40.2%が「地元企業や店の利用」を支持した。女性・子育て世帯・10 年未満居住者は①手作り商品・野菜の販売と②若者が集う場所の支持率が非常に高かった。

これらのことから、まちづくりセンターなど近所で日用品などの買い物ができる場所づくりと、若者が集う場所づくりが、活力あるまちづくりで求められていると言える。

3-3. 参画と協働のまちづくり

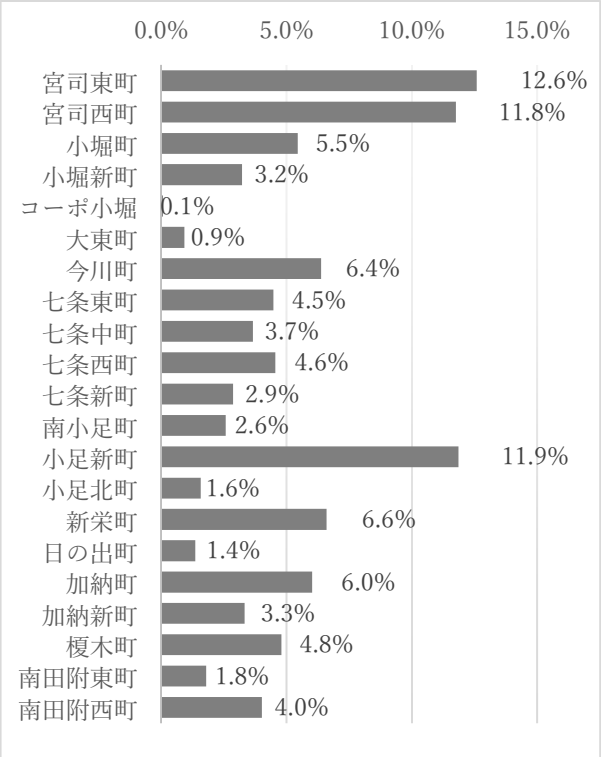
参画と協働のまちづくりでは、①行政課題の市への要望、②自治会活動の情報発信、③住民対話の場の提供の３つの事業が重視された。

西部・男性・子育て世帯・10 年未満居住者で①行政課題の市への要望が 40％を超える高い支持率となった。無回答率が回答者全体の 15%を超えた。

その他

今回のアンケートでは、80 代以上の高齢者と一人暮らし世帯で無回答率が非常に多くなった。今日、高齢者や一人暮らしの方の「孤立化」が問題となっている。こうした方々の意見が広く反映されるアンケートづくりが求められる。

調査の種類	推定配布数	回収数	推定回収率
地域づくり計画にかかる住民アンケート調査	5,678	2,787	49%



東	世帯数	配布数	回収数	回収率
大東町	22	40	26	65%
今川町	118	225	178	79%
七条東町	96	185	125	68%
七条中町	84	161	102	63%
七条西町	85	163	127	78%
七条新町	48	93	80	86%
南小足町	54	100	72	72%
小足新町	289	550	331	60%
小足北町	70	123	44	36%
新栄町	151	296	184	62%
日の出町	80	143	38	27%
加納町	127	245	168	69%
加納新町	113	216	93	43%
榎木町	97	185	134	72%
南田附東町	34	68	50	74%
東部合計	1,468	2,793	1,752	63%

西	世帯数	配布数	回収数	回収率
宮司東町	286	552	351	64%
宮司西町	335	659	328	50%
小堀町	320	634	152	24%
小堀新町	180	356	90	25%
コーポ小堀	60	117	2	2%
南田附西町	295	567	112	17%
西部合計	1,476	2,885	1,035	36%

発行日　令和２年４月30日
発行者　南郷里地域づくり協議会
（南郷里まちづくりセンター内）
〒526-0841 滋賀県長浜市新栄町1065-2
TEL 0749-50-1295　FAX 0749-64-2751
Mail　nangouri-chikyou@zeus.eonet.ne.jp